

2018・中学校「千年の田んぼ：国境の島に、古代の謎を追いかけて」

□この本は山口県見島の田んぼについてのお話です。なぜこの本を選んだかというと、

だからです。

□私は見島について知りませんでした。/はじめて知りました/調べてみました/とても興味を持ちました。

□田んぼ/棚田は、祖父母の家にあります/あまり興味がありません/毎日見えています/テレビでしか見たことがありません。私の知っている田んぼは機械で農作業をしています。/小さな田んぼで手で作業をしています。

□本に出てくる田んぼとは違うかもしれません。見島の田んぼは

なところが

おどろきました。/興味を持ちました。/なるほどなと思いました。/もっと知りたくなりました。

□後継者がいない/自然災害にあいやすいところは とても残念だな/もったいない/大変そうだ と思いました。

□米は一粒から二千粒に増えると言われています。私は

だと思いました。

□現代の私にとって米とは、

だと思いました。/と感じました。

□昔の日本人にとって米とは

なのだろう と思いました。

だからこそ、

だと思いました。/と感じました。

□この本を読んで一番おどろいたことは、

です。

なぜなら、

だからです。

□この本の中で、みんなに知ってほしいことは、

です。

ということ、一人でも多くの人に知ってほしいです。

□

ということもはじめて知りました。

□この本を読むことで、たくさんの知識を得ることができて

でした。

□私はこの本を読みながら、もし自分が古代の人だったらどのように米づくりをするだろうか考えました。

(自分が考えたアイデア、工夫する点など)

□そんなことを想像すると 古代の人を身近に/昔の苦勞を/米作りの大変さを 感じることができました。

□もし私が見島に行く機会があったら、

を見てみたい/してみたいです。

実際の

を見る/することで

だと思えます。

□今まであたりまえのように食べていたお米ですが、これからは、

と思いました。/考えました。